

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	国語	科目	現代の国語	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		「現代の国語」(第一学習社) 「入試頻出漢字・現代文重要語彙 TOP2500」(いいずな書店) 「カラー版 新国語便覧」(第一学習社)					

学習の到達目標	論理的に考える力を伸ばし、人とのかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の想いや考えを広げたり深めたりする力を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の想いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査(知識問題) TOP2500 課題確認テスト 等	定期考査(読解問題) レポート 等	授業内小テスト 授業の振り返り 等

教科担当からの 補足・連絡	特にありません。
------------------	----------

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準	
1学期	【評論導入】 中村桂子 『生き物として生きる』	筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。	知技	文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ)
			思判表	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(C(1)ア)
			主体	粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。
	【小説導入】 原田マハ 『砂に埋もれたル・コルビュジェ』	父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取る。	知技	実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。(3)ア)
			思判	「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。(B(1)ウ)
			主体	自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。
	【対比】 山崎正和 『水の東西』	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	知技	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)
			思判表	「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。(C(1)イ)
			主体	情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。
	【比喩】 芥川龍之介 『羅生門』	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知技	比喩などの修辭について理解を深めている。(1)カ)
			思判	「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。(B(1)ウ)
			主体	自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。
2学期	【事実と意見】 池内了 『「文化」としての科学』	筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。	知技	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)
			思判表	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(C(1)ア)
			主体	接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。
	【視点人物】 夏目漱石 『夢十夜』	「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。	知技	文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ)
			思判表	「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。(C(1)イ)
			主体	自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。
	【具体と抽象】 鈴木孝夫 『ものことば』	具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。	知技	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。(1)ア)
			思判	「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。(C(1)イ)
			主体	筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。
	【視点人物】 村上春樹 『鏡』	恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。	知技	文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ)
			思判	「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。(C(1)イ)

			主体	粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、考えが伝わるように工夫してまとめようとしている。
3 学 期	【主張と根拠】 内山節 『不均等な時間』	具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。	知技	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(2)イ)
			思判	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(C(1)ア)
			主体	論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。
	【文章構成】 志賀直哉 『城の崎にて』	三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。	知技	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)
			思判表	「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。(C(1)イ)
			主体	作品に表れた死生観を積極的に読み取り、意見をまとめて話し合おうとしている。

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	国語	科目	言語文化	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		「高等学校 言語文化」(第一学習社) 「読解をたいせつにする体系古典文法」(数研出版) 「Key&Point 古文単語 330」(いいずな書店) 「カラー版 新国語便覧」(第一学習社)					

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

### 評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

### 評価の方法

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査 (知識問題)  等	定期考査 (読解問題) レポート  等	課題テスト 授業の振り返り  等

教科担当からの 補足・連絡	特にありません。
------------------	----------

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準
1 学期	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」  【文法事項等】 ・用言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。</li> <li>・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。</li> </ul>	知技 <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ)</li> <li>・時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。(2)エ)</li> </ul>
			思判表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(B(1)ア)</li> <li>・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ)</li> </ul>
			主体的 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。</li> <li>・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。</li> </ul>
	『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」  【文法事項等】 ・用言 ・助動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。</li> <li>・説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。</li> </ul>	知技 <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ)</li> </ul>
			思判表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(B(1)ア)</li> <li>・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ)</li> </ul>
			主体的 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。</li> <li>・文の構成単位を理解し、学習の見通しをもって、文を文節や単語に分けようとしている。</li> </ul>
2 学期	『伊勢物語』 「筒井筒」 『土佐日記』 「門出」  【文法事項等】 ・用言 ・助動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌物語に流れる登場人物の心情を、文中に描かれる和歌を通して読み取る。</li> <li>・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。</li> <li>・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・主として助動詞について文語のきまりを理解する。</li> </ul>	知技 <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ)</li> <li>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。(2)カ)</li> </ul>
			思判表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(B(1)ア)</li> <li>・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ)</li> </ul>
			主体的 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。</li> <li>・学習課題に沿って異なるテキストを読み合わせて、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。</li> </ul>
	【訓読の基本、句法等】 ・漢文の構造 ・書き下し文 ・返り点 ・助字 ・置き字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易な例文を用いて、漢文の訓読に必要なきまりを理解する。</li> <li>・訓読するための技術や身につける。</li> </ul>	知技 <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。(2)ア)</li> </ul>
			思判表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(B(1)ア)</li> <li>・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ)</li> </ul>
			主体 <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の語順を理解し、現代文と漢文との比較した内容を工夫してまとめようとしている。</li> </ul>

3 学 期	『枕草子』 「中納言参り給ひて」  【文法事項等】 ・敬語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。</li> <li>自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>主として助動詞について、文語のきまりを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ)</li> <li>時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めている。(2)エ)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(B(1)ア)</li> <li>「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。</li> <li>作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。</li> </ul>
	故事成語 「漁夫之利」  【句法等】 ・再読文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。</li> <li>文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>訓読のきまりを理解する。</li> <li>故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。(2)ア)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(B(1)ア)</li> <li>「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。</li> </ul>

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	地歴公民	科目	地理総合	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		高等学校 新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院） 最新地理図表 GEO（第一学習社）					

学習の到達目標	<p><b>【知識・技能】</b> 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける</p>
	<p><b>【思考・判断・表現】</b> 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う</p>
	<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める</p>

### 評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する力を身につけている。	地理的事象を多面的・多角的に考察する力、地理的な課題の解決に向けて構想する力、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を身につけている。	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につけている、 世界の諸地域の多様な生活文化を理解・尊重しようとする態度を身につけている。

### 評価の方法

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査において、知識・技能問題を設定 定期考査の得点率 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している	定期考査において、思考・判断表現を問う問題を設定 定期考査の得点率 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している	レポート、話し合い等で、「粘り強く学ぶ力」と「自らの学びを調整する力」の観点で評価をする 定期考査の得点率 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している

<b>教科担当からの 補足・連絡</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で学習した地理的分野の復習・確認をしておく。</li> <li>・今世界で起こっている出来事や問題を、新聞やニュースなどで調べる（情報を収集する）習慣を身に着ける。</li> </ul>
--------------------------	--

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準	
1 学 期	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差	時差	知 技	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する力を身につけている。
	2節 地図の役割と種類	地球儀と地図投影法 地図記号 縮尺と等高線 階級区分図	思 判 表	地理的事象を多面的・多角的に考察する力、地理的な課題の解決に向けて構想する力、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を身につけている
	第2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	現代世界の国家の要素 日本の位置や領域 国家間の結びつき 貿易による結びつき 交通網の発達 通信網の発達 観光のグローバル化	主 体 的	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につけている、 世界の諸地域の多様な生活文化を理解・尊重しようとする態度を身につけている。
2 学 期	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際協力	大地形(変動帯 安定陸塊) 小地形(河川 海岸 氷河 砂漠 カルスト) 気温と降水 大気の大循環 世界の植生と気候区分 熱帯 乾燥帯 温帯 亜寒帯 寒帯と人々の生活	知 技	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する力を身につけている。
			思 判 表	地理的事象を多面的・多角的に考察する力、地理的な課題の解決に向けて構想する力、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を身につけている
	第2章 地球的課題と国際協力	地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市・居住問題	主 体 的	地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につけている、 世界の諸地域の多様な生活文化を理解・尊重しようとする態度を身につけている。
3 学 期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	日本の地形・気候 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	知 技	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する力を身につけている。
	第2章 生活圏の調査と地域の展望	地理的な課題と地域調査 現地調査(フィールドワーク)	思 判 表	地理的事象を多面的・多角的に考察する力、地理的な課題の解決に向けて構想する力、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を身につけている

			主体的 地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につけている、 世界の諸地域の多様な生活文化を理解・尊重しようとする態度を身につけている。
--	--	--	--

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	公民	科目	公共	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		詳述公共（実教出版社）					

学習の到達目標	生徒が社会やコミュニティに対する理解を深め、公共の概念や役割を理解し、実践することを育む。 また、ニュースやデータを分析し、多角的に考察する力を育む
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
青年期の課題や人間の特性を理解できているか 過去に生きた人間の尊厳や個人と社会の関わりなどの考え方が理解できているか 民主主義や政治の仕組みが理解できているか 経済の基礎基本について理解できているか	青年期の課題や人間の特性を考え判断できているか 過去に生きた人間の尊厳や個人と社会の関わりなどの考え方を考え判断できているか 民主主義や政治の仕組みを考え判断できているか 経済の基礎基本について考え判断できているか	ペアワークやグループ活動に参加できているか 課題に向き合っているか 時事問題やニュースに関心を持ち自分のものにできているか

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
小テストや定期考査の点数 定期考査の得点率 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している	授業中に出された課題の取り組み、提出状況 定期考査 定期考査の得点率 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している	グループ活動などでは積極的に発言しているか 定期考査 定期考査の得点率 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している

教科担当からの 補足・連絡	その年度の状況に合わせて適切に対応する。 出席をしていなければ単位認定とはならない。
------------------	---

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準	
1学期	公共の扉	人間とは何か	知技 思判表 主体的	青年期の課題や人間の特性を理解できているか 過去に生きた人間の尊厳や個人と社会の関わりなどの考え方が理解できているか
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯における青年期の意義</li> <li>青年期の自己形成の課題</li> <li>職業生活と社会参加</li> <li>現代社会と青年期の生き方</li> </ul>		青年期の課題や人間の特性を考え判断できているか 過去に生きた人間の尊厳や個人と社会の関わりなどの考え方を考え判断できているか
		幸福とは何か		ペアワークやグループ活動に参加できているか 課題に向き合っているか 時事問題やニュースに関心を持ち自分のものにできているか
2学期	よりよい社会の形成に参加する私たち (政治分野中心)	民主国家における基本原理	知技 思判表 主体的	民主主義や政治の仕組みが理解できているか
		<ul style="list-style-type: none"> <li>人権保障の発展と民主政治の成立</li> <li>国民主権と民主政治の発展</li> </ul>		民主主義や政治の仕組みを考え判断できているか
		日本国憲法の基本的性格		ペアワークやグループ活動に参加できているか 課題に向き合っているか 時事問題やニュースに関心を持ち自分のものにできているか
3学期	よりよい社会の形成に参加する私たち (政治分野中心だが経済分野にも触れる)	日本国憲法の基本的性格	知技 思判表 主体的	民主主義や政治の仕組みが理解できているか 経済の基礎基本について理解できているか
		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的人権の保障</li> <li>人権の広がり</li> </ul>		基本的人権について理解した内容を与えられた課題を考え、表現できているか。 経済の基礎基本について考え判断できているか
		<ul style="list-style-type: none"> <li>経済社会の形成と変容</li> <li>市場の仕組み</li> <li>労働問題と雇用</li> </ul>		ペアワークやグループ活動に参加できているか 課題に向き合っているか 時事問題やニュースに関心を持ち自分のものにできているか

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	数学	科目	数学 I	学年	1	単位数	3
使用教科書 副教材		「数学 I Standard」(東京書籍) 「STAGE 数学 I + A」(東京書籍)					

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力, 図形の構成要素間の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 社会の事象などから設定した問題について, データの散らばりや変量間の関係などに着目し, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</li> <li>事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。</li> <li>図形の構成要素間の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。</li> <li>関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。</li> <li>社会の事象などから設定した問題について, データの散らばりや変量間の関係などに着目し, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。</li> <li>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査において、知識・技能を問う問題を設定する	定期考査において、思考力・判断力・表現力を問う問題を設定する。	提出物・授業への取り組み等で「粘り強く学ぶ力」と「自ら学ぶ力」の観点で評価する。

教科担当からの 補足・連絡	
------------------	--

※状況により変更が発生する場合があります。

単元	学習内容	観点別評価規準
【1章 数と式】 1節 式の計算 1 展開	単項式，多項式，項，次数，係数，定数項，同類項，多項式の次数， $n$ 次式など，式についての用語の意味理解，及び指数法則，乗法公式などについての理解を深め，目的に応じて式を多面的に捉えたり変形したりして展開できる力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式，多項式，項，次数，係数，定数項，同類項，多項式の次数，<math>n</math>次式など，式についての用語の意味を理解している。</li> <li>・指数法則や乗法公式といった計算規則についての理解を深め，適切に式を変形することができる。</li> <li>・中学校で学んだ因数分解について振り返り，既に学んだ公式を適切に利用して式を因数分解することができる。</li> <li>・乗法公式を逆に用いることで因数分解の公式として利用できることを理解し，式を正しく因数分解することができる。</li> <li>・数に関連する用語の意味や，循環小数を表す記号について理解している。</li> </ul>
2 因数分解	中学校で学んだ因数分解について振り返り，乗法公式を逆に用いた因数分解の公式を理解するとともに，式の一部を1つの文字に置き換えて考えたり，特定の文字に着目したりするなど，見通しをもって因数分解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実数が四則演算に関して閉じていることについて理解している。</li> <li>・実数が数直線上の点と1対1に対応していることを理解し，それに基づいた実数の絶対値の定義について理解している。</li> <li>・簡単な無理数の四則演算や分母を有理化することができる。</li> <li>・不等式の意味やその基本性質，不等式の解と不等式を解くことの意味について理解し，1次不等式を解くことができる。</li> <li>・連立1次不等式を解くことができる。</li> </ul>
2節 実数 1 実数	自然数，整数，有理数，無理数，実数の意味を理解し，実数が四則演算に関して閉じていることなどについて理解する。また，分数が有限小数や循環小数で表される仕組みや絶対値の定義をもとに，絶対値記号を含む式の計算について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合に関する基本的な概念や記号の意味を理解し，適切に用いることができる。</li> <li>・要素の条件を正しく読み取り，与えられた集合を要素を書き並べる方法で表すことができる。</li> <li>・命題と条件，必要条件，十分条件，必要十分条件の用語の定義を理解している。</li> <li>・ド・モルガンの法則について理解し，適切に用いることができる。</li> <li>・命題の逆，裏，待遇の意味を理解し，それらの命題と元の命題の真偽の関係について理解している。</li> </ul>
	根号を含む式の計算ができ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数の意味や関数の値の表し方，及び2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し，2次関数の式を平方完成するなどして，グラフをかくことができる。</li> </ul>

<p>2 根号を含む式の計算</p>	<p>る。また、分母の有理化について理解し、基本的な計算ができるとともに、分母の有理化を活用して式の値を求めることができる。</p> <p>不等式の意味を理解し、不等式の基本性質を理解する。さらに、不等式の性質をもとに、不等式の解と不等式を解くことの意味を理解し、1次不等式を解くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な単項式の計算をもとに、指数に関する計算規則について考察することができる。</li> <li>・式を多面的に捉える工夫の中から、目的に応じて適切な方法を判断することができる。</li> <li>・<math>x^2</math>の係数が1ではない2次式を因数分解する方法について、乗法公式をもとにして考察することができる。</li> <li>・式の特徴に応じて、式の一部を1つの文字に置き換えて考えたり、特定の文字に着目して整理するなど、見通しをもって式を因数分解したりすることができる。</li> <li>・有理数を小数で表すと、有限小数または循環小数となる理由について説明することができる。</li> <li>・場合分けの考え方をを用いて、実数 <math>a</math> について等式 <math>\sqrt{a^2} =  a </math> が成り立つ理由を考察することができる。</li> </ul>
<p>3 節 1次不等式 1 不等式と1次不等式</p>	<p>連立1次不等式を解くことができる。また、具体的な問題の解決に1次不等式を活用することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分母が平方根の和や差で表されている数を有理化する方法について、適切な乗法公式を活用して考察することができる。</li> <li>・分母の有理化及び乗法公式を適切に利用して、複雑な式の値を求める問題を解決することができる。</li> </ul>
<p>2 不等式の応用</p>	<p>集合の包含関係、部分集合、共通部分と和集合、全体集合、補集合、空集合、ド・モルガンの法則などについて理解する。また、集合に関する記号の意味を理解し、適切に用いることができる。</p> <p>命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件の用語の定義を学び、その概念を図表示による包含関係と関連付けて理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な数の大小関係をもとにして、不等式の基本性質について考察したり、説明したりすることができる。</li> <li>・連立方程式の意味や連立1次不等式の解法の仕組みについて考察することができる。</li> <li>・日常の事象や社会の事象を数学的に捉えて、実数の大小関係に関する条件を不等式で表すことや、連立不等式の考え方を利用して身近な問題を解決することができる。</li> </ul>
<p>【2章 集合と論証】 1 節 集合</p>	<p>命題の逆、裏、対偶を理解す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考察することができる。</li> <li>・集合を図で表すことによって、ド・モルガンの法則が成り立つことを説明することができる。</li> <li>・条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考察することができる。</li> <li>・対偶や背理法を利用した証明の過程を適切に表現することができる。</li> <li>・対偶や背理法を利用した証明の仕方について考察することができる。</li> </ul> <p>・2つの2次関数のグラフの位置関係について考察することができる。</p>

<p>1 集合</p> <p>2 節 命題と論証</p> <p>1 命題と条件</p> <p>2 論証</p> <p>【3章 2次関数】</p> <p>1 節 2次関数とそのグラフ</p> <p>1 2次関数</p>	<p>る。また、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を習得するとともに論理的な思考力を高める。</p> <p>2 次関数の意味や関数の基本的な用語について理解し、関数を表す記号 <math>y=f(x)</math> を使うことができる。さらに、2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数 <math>y=ax^2+bx+c</math> を <math>y=a(x-p)^2+q</math> の形に変形して軸と頂点を求め、そのグラフをかくことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な単項式の計算をもとに、指数に関する計算規則について考えようとしている。</li> <li>・式を多面的に捉えて、複数の方法で式を変形する方法について、それぞれのよさを比較・検討しようとしている。</li> <li>・<math>x^2</math> の係数が1ではない2次式を因数分解する方法について、乗法公式をもとにして考えようとしている。</li> <li>・式を多面的に捉えて、複数の見方で式を整理して因数分解する方法について、それぞれの良さを比較・検討しようとしている。</li> <li>・有理数を小数で表すと、有限小数または循環小数となる理由について考えようとしている。</li> <li>・場合分けの考え方をを用いて、実数 <math>a</math> について等式 <math>\sqrt{a^2}= a </math> が成り立つ理由を考えようとしている。</li> <li>・分母が平方根の和や差で表されている数を有理化する方法について、乗法公式を適切に活用して考えようとしている。</li> <li>・具体的な数の大小関係をもとにして、不等式の基本性質について考察したり、説明したりしようとしている。</li> <li>・連立方程式の意味や連立1次不等式の解法の仕組みについて考えようとしている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考えようとしている。</li> <li>・集合を図で表すことによつて、ド・モルガンの法則が成り立つことを説明しようとしている。</li> <li>・条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考えようとしている。</li> <li>・対偶や背理法を利用した証明の仕方について考えようとしている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの2次関数のグラフの位置関係について考えようとしている。</li> </ul>
<p>2 2次関数の最大・最小</p> <p>3 2次関数の決定</p> <p>2 節 2次方程式と2次不等式</p> <p>1 2次関数のグラフとx軸の共有点</p> <p>2 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数</p>	<p>2 次関数の最大・最小について理解を深め、グラフを利用して、定義域に応じて最大値や最小値を求めることができる。また、具体的な問題の解決に活用することができる。</p> <p>2 次関数のグラフについて与えられた条件から、その2次関数を決定することができる。</p> <p>2 次方程式の解の公式を確認し、2次方程式の解と2次関数のグラフとx軸の共有点との関係を理解する。</p> <p>2 次関数のグラフとx軸の共有点と判別式Dの符号との関係を理解する。さらに、2次方程式の判別式Dを用いて2次関数のグラフとx軸の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数の定義域・値域の意味を理解し、1次関数や2次関数のグラフを用いて最大値、最小値を求めることができる。</li> <li>・2次関数を決定するための条件について基礎的な知識を身に付け、グラフに関する条件から2次関数を決定することができる。</li> <li>・2次方程式の解の求め方を確認し、2次方程式の解を用いて2次関数のグラフとx軸の共有点のx座標を求めることができる。</li> <li>・判別式を用いて、2次方程式の解の個数を調べることができる。</li> <li>・2次関数のグラフとx軸の共有点の個数との関係を、判別式を用いて調べることができる。</li> <li>・2次不等式の解と2次関数のグラフの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</li> <li>・2次不等式を含む連立不等式の解を求めることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正接、正弦、余弦の意味を理解し、それらを用いて三角形の辺の長さを求めることができる。</li> <li>・角Aの三角比と角<math>90^\circ-A</math>の三角比の関係について理解し、1つの三角比を別の角の三角比で表すことができる。</li> <li>・三角比の相互関係を用いて、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。</li> <li>・<math>0^\circ</math>、<math>90^\circ</math>、<math>180^\circ</math>まで拡張した三角比の定義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めることができる。</li> <li>・三角比の値から角<math>\theta</math>の大きさを求めることができる。</li> <li>・鈍角の場合の三角比の相互関係について理解し、それらを用いて1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。</li> <li>・任意の鈍角の三角比を鋭角の三角比で表したり、三角比の表を用いてその値を求めたりすることができる。</li> </ul>

<p>3 2次不等式</p> <p>4章 図形と計量</p> <p>1節 鋭角の三角比</p> <p>1 直角三角形と三角比</p>	<p>点の個数や位置関係について考察することができる。</p> <p>2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係から2次不等式の解の意味を理解し、その解を求めることができる。さらに、2次不等式を含む連立不等式を解いたり、具体的な問題の解決に2次不等式を活用したりすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を論理的に考察したり、具体的な問題の解決に活用したりすることができる。</li> <li>・2次関数のグラフとx軸の共有点について、2次方程式の実数解と関連させて考察することができる。</li> <li>・2次方程式の実数解の個数に対する判別式の意義や有用性について考察することができる。</li> <li>・2次不等式の解について、グラフとx軸との位置関係と関連させて考察することができる。</li> <li>・2次不等式を利用して具体的な問題について解決することができる。</li> <li>・図形の構成要素間関係に着目し、日常の事象を三角比を利用してその問題を解決することができる。</li> <li>・三平方の定理や正接の定義を利用して、三角比の間に成り立つ関係を考察することができる。</li> <li>・点の座標を用いて鋭角の三角比を表現し、それをもとにして鈍角の三角比の定義について考察することができる。</li> <li>・角<math>\theta</math>の三角比と角<math>180^\circ-\theta</math>の三角比の関係について考察したり、説明したりすることができる。</li> </ul>
<p>2 三角比の相互関係</p> <p>2節 三角比の拡張</p> <p>1 三角比と座標</p> <p>2 三角比の性質</p>	<p>三角比としての正接、正弦、余弦の意味を理解して、三角比の表を利用したり、<math>30^\circ</math>、<math>45^\circ</math>、<math>60^\circ</math>の三角比を用いて直角三角形の辺の長さを求めたりすることができる。さらに、三角比を具体的な問題の解決に活用することができる。</p> <p>三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。</p> <p>鈍角や<math>0^\circ</math>、<math>90^\circ</math>、<math>180^\circ</math>まで拡張した三角比の定義や、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解し、<math>0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ</math>のときの三角比の値から角<math>\theta</math>の大きさを求めることができる。</p> <p>鈍角まで拡張した場合の三角比の相互関係について理解を深め、それらを活用することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を考えようとしている。</li> <li>・2次関数のグラフとx軸の共有点を、2次方程式の実数解と関連付けて考えようとしている。</li> <li>・判別式を活用して2次方程式の実数解の個数の分析を考えようとしている。</li> <li>・2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係を活用して2次不等式の解を考えようとしている。</li> <li>・三平方の定理や正接の定義を利用して、三角比の間に成り立つ関係を考えようとしている。</li> <li>・点の座標を用いて鋭角の三角比を表現したり、それをもとにして鈍角の三角比の定義について考えたりしようとしている。</li> <li>・角<math>\theta</math>の三角比と角<math>180^\circ-\theta</math>の三角比の関係について考えたり、説明したりしようとしている。</li> </ul>
<p>3節 三角形への応用</p> <p>1 正弦定理・余弦定理・面積の公式</p> <p>2 空間図形</p>	<p>三角形の辺と角の間の基本的な関係として正弦定理や余弦定理を理解し、それらを活用して外接円の半径や既知の辺や角から残りの辺や角の大きさを求めることができる。また、三角比を用いた三角形の面積の公式について理解し、条件に応じて余弦定理や三角比の相互関係を活用して三角形の面積を求めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正弦定理や余弦定理を用いて、外接円の半径を求めたり、既知の辺や角から残りの辺や角の大きさを求めたりすることができる。</li> <li>・三角比を用いた三角形の面積の公式について理解し、条件に応じて余弦定理や三角比の相互関係を活用して三角形の面積を求めることができる。</li> <li>・偏差、分散、標準偏差の定義とその意味や特徴を理解し、データをもとにそれらを求めることができる。</li> <li>・散布図及び相関関係の意味を理解している。</li> <li>・具体的なデータをもとにして相関係数の定義とその求め方を理解している。</li> <li>・問題解決のプロセスについて理解している。</li> <li>・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。</li> </ul>

<p>の計量</p> <p>5章 データの分析</p> <p>1節 データの分析</p> <p>1 データの散らばり</p> <p>2 データの相関</p> <p>2節 データの分析の応用</p> <p>1 データの分析を利用した問題解決</p> <p>3節 仮説検定の考え方</p> <p>1 仮説検定の考え方</p>	<p>三角比を空間図形の計量に活用することができる。</p> <p>データの平均値に着目して、データの散らばりの大きさを表すための方法として、偏差、分散、標準偏差を理解し、データをもとにそれらを求めることができる。</p> <p>散布図及び相関関係について理解する。また、相関関係を1つの数値として表す方法として、相関係数について理解する。</p> <p>これまでに学んだデータを分析する方法を用いて身の回りの事象をPPDACサイクルに沿って考察・検討するとともに、問題を解決するプロセスについて理解する。</p> <p>具体的な事象において仮説検定の考え方を理解するとともに、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。</p>	<p>・三角比を用いて三角形の構成要素間の関係を考察したり、それらの関係が一般の三角形においても成り立つことを説明したりすることができる。</p> <p>・三角比を用いて三角形の面積公式を導くことができる。</p> <p>・日常の場面を数学的に捉えて、目的の量を調べるためにはどのような手順で三角比を活用すればよいかを判断し、実際に目的の量を調べることができる。</p> <p>・三角比を空間図形の計量に活用することができる。</p> <p>・偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法の短所を見出し、分散の定義について考察したり、標準偏差を用いることの意義について説明したりすることができる。</p> <p>・標準偏差を用いて複数のデータを比較し、それらの違いを適切に説明することができる。</p> <p>・2つのデータの相関関係について、散布図を用いて考察することができる。</p> <p>・これまでに学んだデータを分析する方法を用いて身の回りの事象をPPDACサイクルに沿って考察したり検討したりすることができる。</p> <p>・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。</p> <p>・三角比を用いて三角形の構成要素間の関係を考察したり、それらの関係が一般の三角形においても成り立つことを説明したりしようとしている。</p> <p>・三角比を用いて三角形の面積公式を導こうとしている。</p> <p>・偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法の短所を見出したり、分散の定義や標準偏差を用いる意義について考察したりしようとしている。</p> <p>・2つのデータの相関関係について、散布図を用いて考えようとしている。</p> <p>・具体的な問題解決の場面において、PPDACサイクルを活用したり、その過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p> <p>・不確実な事象の起こりやすさに着目し、首長の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりしようとしている。</p>
--	--	--

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	数学	科目	数学 A	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		「数学 A Standard」(東京書籍) 「STAGE 数学 I + A」(東京書籍)					

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
---------	--

### 評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</li> <li>数学と人間の活動の関係について認識を深めている。</li> <li>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。</li> <li>不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。</li> <li>数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、している。</li> <li>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>

### 評価の方法

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査において、知識・技能を問う問題を設定する	定期考査において、思考力・判断力・表現力を問う問題を設定する。	提出物・授業への取り組み等で「粘り強く学ぶ力」と「自ら学ぶ力」の観点で評価する。

教科担当からの 補足・連絡	
------------------	--

※状況により変更が発生する場合があります。

単元	学習内容	観点別評価規準
----	------	---------

<p>【1章 場合の数と確率】</p> <p>1節 集合と場合の数</p> <p>1. 数え上げの原則と集合の要素の個数</p> <p>2 順列</p> <p>3 組合せ</p>	<p>有限集合の和集合・補集合の要素の個数、及び和の法則や積の法則について、図表示などを利用してしながら、場合の数を求めることができる。</p> <p>順列の意味を理解し、その総数 <math>nPr</math> や階乗の計算することができる。また、円順列や重複順列など、いろいろな順列の計算することができる。</p> <p>組合せの意味を理解し、その総数 <math>nCr</math> を、順列との関係によって求めることができる。また、組合せの考えを、組分けや同じものを含む順列に応用することができる。</p>	<p>・和集合・補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数を求めることができる。</p> <p>・順列の総数 <math>nPr</math> や階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。</p> <p>・円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができる。</p> <p>・組合せの総数 <math>nCr</math> を理解し、計算することができる。</p> <p>・順列や組合せの考えを用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができる。</p>
<p>2節 確率とその基本性質</p> <p>1. 数え上げの原則と集合の要素の個数</p> <p>2 順列</p> <p>3 組合せ</p>	<p>試行と事象、根元事象などの定義を知り、事象の確率の求め方を理解するとともに、その確率を求めることができる。</p> <p>積事象・和事象、排反事象、確率の基本性質、確率の加法定理、和事象の確率、余事象とその確率について理解し、これらを利用して確率を求めることができる。</p>	<p>・事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。</p> <p>・積事象と和事象の確率について理解している。</p> <p>・排反事象と確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。</p> <p>・確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。</p> <p>・独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解し、その確率を求めることができる。</p> <p>・反復試行の確率を理解し、反復試行の確率を求めることができる。</p> <p>・条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を求めることができる。</p> <p>・期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。</p>
<p>3節 いろいろな確率</p> <p>1 独立な試行の確率</p> <p>2 反復試行の確率</p> <p>3 条件付き確率</p> <p>4 期待値</p>	<p>独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解する。</p> <p>独立な試行の典型的な例である反復試行の確率を理解し、簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。</p> <p>条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、それらを用いて具体的な事象を数学的に考察することができる。</p> <p>期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。</p>	<p>・同様に確からしいことを利用して、事象の確率の考え方を説明することができる。</p> <p>・互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。</p> <p>・独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し、具体例を通して考察することができる。</p> <p>・反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。</p> <p>・これまで求めてきた確率と条件付き確率の違いを説明することができる。</p> <p>・期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。</p>

<p>2章 図形の性質</p> <p>1節 三角形と比</p> <p>2節 円の性質</p> <p>3節 空間図形</p>	<p>三角形の内角の二等分線と比, 外角の二等分線と比などについて理解し, それらを用いて線分の長さを求めることができる。</p> <p>三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について理解する。また, 外接円, 内接円との関係を理解する。</p> <p>チェバの定理, メネラウスの定理を理解し, それを活用しているような辺の長さや比を求めることができる。</p> <p>円周角の定理と定理の逆について振り返るとともに, 円に内接する四角形の定理と四角形が円に内接する条件の定理について理解する。さらに, 接線と弦のつくる角の定理を理解し, それを利用して, 角の大きさを求めることができる。</p> <p>円と2本の直線がつくる線分の長さの関係について考察し, 方べきの定理が成り立つことを理解するとともに, それを利用して線分の長さを求めることができる。</p> <p>2つの円の位置関係を理解し, そこに現れる図形の性質を利用して線分の長さを求めることができる。</p> <p>円の接線の性質を利用して, 円の外部の点からの接線を作図する方法について考察することができる。</p> <p>空間における2直線・2平面の位置関係やなす角, 及び平面の決定条件などについて理解する。</p> <p>空間における直線と平面の位置関係が垂直である場合について考察するとともに, 三垂線の定理を理解する。</p>	<p>・三角形の内角の二等分線と比, 外角の二等分線と比などについて理解し, それらを用いて線分の長さを求めることができる。また, 数直線上の内分点, 外分点の座標を求めることができる。</p> <p>・三角形の外心・内心・重心の性質を利用して, 角の大きさや線分の長さを求めることができる。</p> <p>・チェバの定理, メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。</p> <p>・円周角の定理とその逆, 円に内接する四角形の定理, 四角形が円に内接する条件の定理, 接線と弦のつくる角の定理を利用して, 角の大きさを求めることができる。また, 円に内接する四角形を選ぶことができる。</p> <p>・方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができる。</p> <p>・2つの円の位置関係から補助線を引くことによって, 線分の長さを求めることができる。</p> <p>・空間における2直線・2平面のなす角を求めることができる。</p> <p>・空間における直線と平面の位置関係が垂直であることをかき示すことができる。</p>
		<p>・三角形の内角の二等分線と比の性質の証明をもとに, 三角形の外角の二等分線と比の性質を証明することができる。</p> <p>・三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について, 様々な性質を利用しながら考察することができる。</p> <p>・チェバの定理の証明について, 面積比を利用して考察することができる。</p> <p>・円に内接する四角形の定理, 接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について, 円周角の定理を利用して考察することができる。</p> <p>・方べきの定理の証明について, 三角形の相似を利用して考察することができる。</p> <p>・2つの円の位置関係を理解し, そこに現れる図形の性質を利用して, 2つの円の共通接線の本数を考察したり, 説明したりすることができる。</p> <p>・円の外部の点から接線を2本引いたときの接線の始点と円の接点との関係に気づき, その関係を活用して接線の作図の考え方を説明することができる。</p> <p>・空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について, 平面上の直線に着目して考察したり, 説明したりすることができる。</p>
		<p>・円に内接する四角形の定理, 接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について, 円周角の定理を利用して考えようとしている。</p> <p>・方べきの定理の証明について, 三角形の相似を利用して考えようとしている。</p> <p>・円の外部の点から接線を2本引いたときの接線の始点と円の接点との関係を活用して接線の作図の考え方を説明しようとしている。</p> <p>・空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について, 平面上の直線に着目して説明しようとしている。</p>

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	理科	科目	生物基礎	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		改定高等学校 生物基礎（第一学習社） ニューステージ生物図表（浜島書店） セミナー生物基礎（第一学習社）					

学習の到達目標	<p>日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【知識・技能】生物学の基本的な概念や原理・法則を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】生物学の知識と科学的な思考や実験技術を用いて生物学的に探究する能力が備わる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】教科書にない事象に対して目的意識をもち、科学の見方考え方を用いて探究し、課題解決できる。</p> <p>生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けているか。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りや自然の事物や現象に対して自ら課題や疑問などを設定できるか。</li> <li>課題や疑問に対して、科学的知見から探究し、課題解決を導きだそうとしているか。</li> </ul>

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査において知識・技能に関する問題を設定 実験レポート	定期考査において思考・判断・表現に関する問題を設定 確認テスト（論述含む）	粘り強く学ぶ力と自らの学びを調整する力の観点 定期考査の総合得点率の一部 振り返りシート 小テスト（再提出含む） 各種課題

教科担当からの 補足・連絡	<p>生物基礎は、すべての人が生物「ヒト」として生きていく上で重要な分野の知見と考え方を身に着けるための学問分野である。</p> <p>履修後には、自分の生活や生活上の選択に活かすだけでなく、人類の社会活動を担う一員として、環境保全・自然保護と両立させるための十分な知識と技術を身に付けていることを目指している。</p> <p>例えば、バイオテクノロジーの発展に関しては遺伝子やゲノムへの理解。自身の疾患や家族の健康に関しては体内環境の理解。持続可能な環境についてはバイオームや生物多様性の知識と考え方が、自然保護を感情ではなく科学的視点に基づいて考えていくためのアイテムとして役立つであろう。</p>
------------------	---

※状況により変更が発生する場合があります。

月	学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 ②すべての生物に共通する特徴 ③細胞構造と生物の共通祖先	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が息絶しており、生物は多様であることを理解している。</li> <li>すべての生物は共通した特徴をもつことを理解している。</li> <li>顕微鏡の扱い方、観察材料に応じたプレパラートの作成法を習得している。</li> <li>マイクロメーターの使用法を身につけている。</li> <li>身近な生物材料から DNA を抽出し、確認する方法を習得している。</li> <li>共通の祖先が長い年月の間に変化して、生物が多様化したことを理解している。</li> <li>いろいろな細胞小器官の働きの概要を理解している。</li> <li>原核細胞と真核細胞の違いを理解している。また、現生生物の共通祖先は原核生物であると考えられていることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校での学習内容から、すべての生物に共通する特徴として、からだの細胞からなるということ仮説として設定し、観察に取り組むことができる。</li> <li>観察結果をレポートなどにまとめることができる。</li> <li>観察結果などから、仮説は正しいといえるか論理的に説明できる。</li> <li>生物にみられる特徴について説明できる。</li> <li>脊椎動物にみられる特徴を例に、いくつかのグループどうしでみられる共通性は何に由来しているかについて推測できる。</li> <li>すべての生物に共通する特徴がある理由を説明できる。</li> <li>資料から、生命活動にエネルギーが必要であることを読み取ることができる。</li> <li>代謝とは何か説明できる。</li> <li>資料から、代謝において ATP は、エネルギーが入り出す際の仲立ちとなっていることを読み取ることができる。</li> <li>光合成や呼吸において、ATP が利用される過程と、担う役割について説明できる。</li> <li>複数の化学反応からなる代謝の過程が、酵素の働きかけで、順を追って円滑に進行するしくみを説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを主体的に見いだそうとしている。</li> <li>観察結果をレポートなどにまとめ、積極的に他の人に説明しようとしている。</li> <li>脊椎動物の系統樹から、生物に共通してみられる特徴と、その由来について積極的に説明しようとしている。</li> <li>資料からわかることを積極的に読み取ろうとしている。</li> <li>代謝における ATP の役割について、資料からわかることを積極的に説明しようとしている。</li> <li>肝臓片に含まれるカタラーゼを用いた実験に積極的に関わっている。</li> <li>顕微鏡の操作方法を習得しようとするともに接眼マイクロメーター1目盛りの長さの計算方法を理解しようとしている。</li> </ul>
5	2. 生物とエネルギー ①生物とエネルギー ②代謝と ATP ③代謝と酵素	<ul style="list-style-type: none"> <li>代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動には ATP が関わることを理解している。</li> <li>光合成と呼吸では、共に ATP の合成が行われていることを理解している。</li> <li>酵素の特徴を理解している。</li> <li>体内の複雑な反応は、酵素が存在することで円滑に進行することを理解している。</li> <li>身近な材料を用いて、カタラーゼの反応を確認する実験を行うことができる。</li> <li>火の扱いに留意して実験を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、DNA にみられる構造の特徴を読み取り、DNA の塩基の相補性と DNA の構造との関連について説明できる。</li> <li>塩基の相補性にもとづいて、DNA の分子モデルを作製できる。</li> <li>DNA の構造の特徴を説明できる。</li> <li>資料から、DNA の複製のしくみ（半保存的複製）を読み取ることができる。</li> <li>DNA の分子モデルを用いて、半保存的複製を再現できる。</li> <li>塩基の相補性に着目して、DNA の複製のしくみを説明できる。</li> <li>タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察し、その結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヌクレオチド鎖の塩基どうしの結合にみられる特徴を資料から読み取り、積極的に説明しようとしている。</li> <li>これまでの学習内容をふまえて、DNA の分子モデルの作製に積極的に取り組んでいる。</li> <li>DNA の複製について、資料から読み取れることを積極的に説明しようとしている。</li> <li>DNA の分子モデルを用いた半保存的複製の再現に、積極的に取り組んでいる。</li> <li>タマネギの根端を用いた細胞分裂の観察に積極的に取り組んでいる。</li> <li>タマネギの根端を用いた細胞分裂の観察から得られた結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。</li> <li>…細胞分裂の観察は3学期に実施予定</li> </ul>
6	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報と DNA ②DNA の複製と分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子と DNA と染色体の関係について理解している。</li> <li>二重らせん構造や塩基の相補性などの DNA の構造の特徴を理解している。</li> <li>グリフィス、エイブリー、ハーシーとチェイス、シャルガフが行った研究の内容と意義を理解している。</li> <li>DNA の半保存的複製を理解している。</li> <li>細胞分裂時、DNA は母細胞で半保存的複製によって複製され、2 個の娘細胞に等しく分配されることを理解している。</li> <li>間期に DNA が複製され、その後分裂期に移行することを理解している。また、細胞分裂の各過程で起こる現象を理解している。</li> <li>押しつぶし法によってプレパラートを作成できる。</li> <li>薬品の扱いに留意して観察できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、3つの塩基の並び（コドン）が1つのアミノ酸に対応していることを読み取ることができる。</li> <li>遺伝子として働く部分の DNA の塩基配列は、どのようにタンパク質の種類を決定するか説明できる。</li> <li>遺伝暗号表をもとに、例示された mRNA が指定するアミノ酸配列を正確に読み取ることができる。</li> <li>塩基配列をもとにタンパク質が合成される過程を説明できる。</li> <li>同じゲノムをもつ細胞でも形態や働きが異なる理由を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩基配列とアミノ酸配列の関係、資料から積極的に読み取ろうとしている。</li> <li>遺伝暗号表をもとに、例示された mRNA が指定するアミノ酸配列を正確に読み取ろうとしている。</li> <li>ユスリカの幼虫のだ腺の摘出と、だ腺染色体の観察に積極的に取り組んでいる。</li> <li>…唾腺染色体の観察は3学期に実施予定</li> </ul>
7	2. 遺伝情報とタンパク質 ①タンパク質 ②遺伝情報とタンパク質の合成 ③遺伝子とゲノム	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンパク質はアミノ酸が多数結合したものであることを理解している。</li> <li>RNA と DNA の構造の違いを理解している。</li> <li>転写と翻訳の過程の概略を理解している。</li> <li>ゲノムの概念を理解している。</li> <li>ゲノムと遺伝子の関係を理解している。</li> <li>真核生物のゲノムと原核生物のゲノムの特徴を理解している。</li> <li>同じ個体を構成する細胞は、同じゲノムをもつことを理解している。</li> <li>細胞によって発現する遺伝子と発現しない遺伝子が異なっていることを理解している。</li> <li>ユスリカの幼虫などからだ腺を取り出し、だ腺染色体のプレパラートを作成できる。</li> <li>染色体を染色してパフを観察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から、3つの塩基の並び（コドン）が1つのアミノ酸に対応していることを読み取ることができる。</li> <li>遺伝子として働く部分の DNA の塩基配列は、どのようにタンパク質の種類を決定するか説明できる。</li> <li>遺伝暗号表をもとに、例示された mRNA が指定するアミノ酸配列を正確に読み取ることができる。</li> <li>塩基配列をもとにタンパク質が合成される過程を説明できる。</li> <li>同じゲノムをもつ細胞でも形態や働きが異なる理由を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩基配列とアミノ酸配列の関係、資料から積極的に読み取ろうとしている。</li> <li>遺伝暗号表をもとに、例示された mRNA が指定するアミノ酸配列を正確に読み取ろうとしている。</li> <li>ユスリカの幼虫のだ腺の摘出と、だ腺染色体の観察に積極的に取り組んでいる。</li> <li>…唾腺染色体の観察は3学期に実施予定</li> </ul>

9	<p>第3章 ヒトのからだの調節</p> <p>1. 情報の伝達と体内環境の維持</p> <p>①情報伝達と恒常性</p> <p>②自律神経系による体内環境の調節</p> <p>③内分泌系による体内環境の調節</p> <p>④体内環境を調節するしくみ</p> <p>⑤血液凝固</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体液の種類と関係について理解している。</li> <li>・赤血球, 白血球, 血小板, 血しょうの特徴や働きを理解している。</li> <li>・ヒトの神経系の種類を理解している。</li> <li>・脳の各部位の働きと脳死・植物状態の関係について理解している。</li> <li>・交感神経と副交感神経の分布と働きを理解している。</li> <li>・さまざまな内分泌系のしくみとホルモンの働きを理解している。</li> <li>・神経分泌の現象を理解している。</li> <li>・ホルモン分泌のフィードバック調節について, チロキシンの分泌調節を例に理解している。</li> <li>・血糖濃度が自律神経系とホルモンによって調節されていることを理解している。</li> <li>・糖尿病の生じるしくみを理解している。また, 糖尿病で尿中にグルコースが排出される原因を理解している。</li> <li>・体温が自律神経系と内分泌系によって調節されていることを理解している。</li> <li>・血液凝固のしくみを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動前後の心拍数の変化を測定する実験から, からだには体内環境の変化を情報として, 組織や器官の間で受け渡すしくみがあることに気づく。</li> <li>・体内環境の調節で交感神経と副交感神経の働きは, 互いにどのような関係にあるか説明できる。</li> <li>・体内環境の調節における, 内分泌系と自律神経系の働きの違いを説明できる。</li> <li>・資料を読み取り, インスリンの働きと, 血糖濃度が一定の範囲内に保たれるしくみについて推測できる。</li> <li>・資料から, 血糖濃度調節では, 自律神経系による働きも関与していることを読み取ることができる。</li> <li>・血糖濃度上昇時の自律神経系と内分泌系による血糖濃度調節のしくみについて説明できる。</li> <li>・血液凝固のしくみについて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動前後の心拍数の変化を測定する実験に積極的に取り組み, 体内における情報伝達のしくみを理解しようとする。</li> <li>・インスリンの働きと, 血糖濃度が一定の範囲内に保たれるしくみについて, 資料からわかることを積極的に説明しようとしている。</li> <li>・血糖濃度調節における自律神経系の働きについて, 資料から読み取れることを積極的に説明しようとしている。</li> </ul>
10	<p>2. 免疫</p> <p>①病原体への防御のしくみ</p> <p>②自然免疫</p> <p>③獲得免疫</p> <p>④自然免疫と獲得免疫の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体防御には, 皮膚などによる防御と免疫があることを理解している。</li> <li>・白血球の食作用について理解している。</li> <li>・昆虫の幼虫を用いて, 血球のプレパラートを作成することができる。</li> <li>・免疫には, さまざまな免疫細胞が関与することを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から, 好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることに気づく。</li> <li>・生体防御について, 物理的・化学的に病原体の侵入を防ぐしくみと, 免疫に分けて説明できる。</li> <li>・自然免疫によって炎症が起こる流れについて説明できる。</li> <li>・獲得免疫の一次応答の過程を説明できる。</li> <li>・資料をもとに, 二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを読み取り, 説明できる。</li> <li>・自然免疫と獲得免疫について, 免疫細胞のコマを用いて, 流れを整理しながら説明できる。</li> <li>・自然免疫と獲得免疫では抗原認識が違い, 自然免疫が獲得免疫を誘導することによって, 免疫の反応が基本的に病原体にのみ起こることを説明できる。</li> <li>・ワクチンの接種による感染症予防のしくみについて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを, 2つの資料から積極的に読み取ろうとしている。</li> <li>・昆虫の幼虫を用いた血球のプレパラートの作成に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを資料から読み取り, 積極的に説明しようとしている。</li> <li>・免疫細胞のコマを用いて, 免疫の流れを積極的に他の人に説明しようとしている。</li> </ul>
11	<p>⑤免疫と生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然免疫のしくみを理解している。</li> <li>・抗体が特定の抗原と結合し, 抗原抗体反応を起こすことを理解している。</li> <li>・二次応答の特徴を理解している。</li> <li>・自然免疫と獲得免疫の抗原認識の違いを理解する。</li> <li>・自然免疫と獲得免疫が互いに活性化して病原体を排除していることを理解する。</li> <li>・花粉症などの起こるしくみを理解している。</li> <li>・エイズは, HIVによってT細胞が破壊されることで生じることを理解している。</li> <li>・予防接種や血清療法は, 二次応答を利用した医療であることを理解している。</li> <li>・近年, 特定の病気に対して抗体医薬が用いられていることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から, 好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることに気づく。</li> <li>・生体防御について, 物理的・化学的に病原体の侵入を防ぐしくみと, 免疫に分けて説明できる。</li> <li>・自然免疫によって炎症が起こる流れについて説明できる。</li> <li>・獲得免疫の一次応答の過程を説明できる。</li> <li>・資料をもとに, 二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを読み取り, 説明できる。</li> <li>・自然免疫と獲得免疫について, 免疫細胞のコマを用いて, 流れを整理しながら説明できる。</li> <li>・自然免疫と獲得免疫では抗原認識が違い, 自然免疫が獲得免疫を誘導することによって, 免疫の反応が基本的に病原体にのみ起こることを説明できる。</li> <li>・ワクチンの接種による感染症予防のしくみについて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好中球が食作用によって細菌を体内から排除していることを, 2つの資料から積極的に読み取ろうとしている。</li> <li>・昆虫の幼虫を用いた血球のプレパラートの作成に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・二次応答によって同じ感染症にかかりにくいことを資料から読み取り, 積極的に説明しようとしている。</li> <li>・免疫細胞のコマを用いて, 免疫の流れを積極的に他の人に説明しようとしている。</li> </ul>
12	<p>第4章 植生と遷移</p> <p>1. 植生と遷移</p> <p>①植生と環境の関わり</p> <p>②遷移のしくみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生, 相観, 優占種について理解している。</li> <li>・森林は, いくつかの階層に分けられ, 林冠, 林床が存在することを理解している。</li> <li>・安全に野外調査を行うことができる。</li> <li>・土壌の構造を理解している。</li> <li>・光補償点, 光飽和点がどのような光の強さであるか理解している。</li> <li>・陽生植物や陰生植物, 陽樹と陰樹, 陽葉と陰葉の特徴を理解している。</li> <li>・陽葉と陰葉の断面について, ピスを用いてプレパラートを作成できる。</li> <li>・モデルにおける乾性遷移が進行するしくみや順序, 各過程でみられる植物などの特徴を理解している。</li> <li>・極相林にはさまざまな大きさのギャップが存在し, その大きさによってギャップを埋める樹種が変わることがあることを理解している。</li> <li>・湿性遷移の過程について理解している。</li> <li>・二次遷移の過程について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察から, 植生と環境は密接な関係にあることを考察できる。</li> <li>・陽葉と陰葉の断面を観察・比較し, 構造の違いと光環境との関係を考察できる。</li> <li>・森林が成立する土壌と光環境の特徴について説明できる。</li> <li>・伊豆大島における, 溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに, 遷移の進行が光環境と土壌の状態に左右されることを考察できる。</li> <li>・陸上の一次遷移において, 遷移が進む要因を森林が成立する前と後に分けて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生ごとの環境の比較の観察に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・陽葉と陰葉の断面の観察に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・伊豆大島における, 溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果からわかることを読み取り, 積極的に説明しようとしている。</li> </ul>

1	<p>2. バイオーム ①遷移とバイオーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオームの概念を理解している。</li> <li>・年平均気温と年降水量は、それぞれの地域のバイオームを決める重要な要因となっていることを理解している。</li> <li>・森林には、熱帯・亜熱帯多雨林、雨緑樹林、硬葉樹林、照葉樹林、夏緑樹林、針葉樹林がみられることや、それぞれの特徴を理解している。</li> <li>・草原には、サバンナやステップがみられることや、それぞれの特徴を理解している。</li> <li>・荒原には、砂漠やツンドラがみられることや、それぞれの特徴を理解している。</li> <li>・日本の降水量と気温から、日本では気温によってバイオームが異なることを理解している。</li> <li>・日本の水平分布のようすと、本州中部の垂直分布のようすを理解している。また、各バイオームの特徴を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から、世界でみられる草原や荒原が森林へ遷移することなく長期間維持されている要因として、その地域の年降水量や年平均気温などが関係していることを、読み取ることができる。</li> <li>・世界のバイオームと年降水量、年平均気温を示したグラフを読み取ることができる。</li> <li>・本州中部山地帯において、荒原や草原が極相として成立しない理由を、年平均気温や年降水量と関連づけて説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオームの分布を決める要因を資料から積極的に読み取ろうとしている。</li> </ul>
2	<p>第5章 生態系とその保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の構造を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察から、身の回りの環境でも、生物の種の多様性がみられることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌生態系の観察に積極的に取り組んでいる</li> </ul>
3	<p>1. 生態系と生物の多様性 ①生態系の成り立ち ②生態系における生物どうしの関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種の多様性、生物多様性について理解している。</li> <li>・生態系において、生物が食物網によってつながっていることを理解している。</li> <li>・生態系ピラミッドにおいて、栄養段階が上がるにつれて数などが小さくなることを理解している。</li> <li>・食物網において、上位にある生物がいなくなった場合にどのような影響が生じるか理解している。</li> <li>・生態系におけるキーストーン種の重要性について理解している。</li> <li>・食物連鎖を通じて間接的に他の生物に影響を与えることがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習から、種の多様性は植生や光環境、土壌の状態によって左右されるのではないかとこの予想を立てることができる。さらに、観察から、立てた予想が正しいか検証できる。</li> <li>・各生態系で、異なる種の多様性がみられる理由を説明できる。</li> <li>・資料から、上位の栄養段階の生物を排除すると、下位の生物の種数や生息密度に変化が生じることがあることを読み取ることができる。また、キーストーン種の生態系内での役割について考察できる。</li> <li>・アリューシャン列島近海でみられるラッコ、ウニ、ケルブの関係から、ラッコがキーストーン種であるといえる理由を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説を立てて観察に取り組み、種の多様性と環境の関係を積極的に考察しようとしている。</li> <li>・上位の栄養段階の生物が生態系で果たす役割を、資料から積極的に読み取ろうとしている。</li> </ul>
3	<p>2. 生態系のバランスと保全 ①生態系の変動と安定性 ②人間活動による生態系への影響とその対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の個体数や量は、常に一定の範囲内で変動しながらバランスが保たれていることを理解している。</li> <li>・河川でみられる自然浄化のしくみを理解している。</li> <li>・河川の微生物による自然浄化を確認できる。</li> <li>・富栄養化の生じるしくみと生態系への影響を理解している。</li> <li>・生態系の復元力と、復元力を超える攪乱を受けた場合、生態系のバランスが崩れ、場合によっては別の状態に移行してもとに戻らないことがあることを理解している。</li> <li>・地球温暖化の影響によると考えられる生態系の変化を理解している。</li> <li>・いろいろな外来生物とその影響を理解している。</li> <li>・インターネットなどを利用して、信頼のできる情報を得ることができる。</li> <li>・自然に対する人間の働きかけの縮小による生態系への影響を理解している。</li> <li>・開発による生態系への影響と、生息地の分断による影響を軽減する取り組みや、環境アセスメントの必要性について理解している。</li> <li>・絶滅危惧種と、それらを保護するための取り組みについて理解している。</li> <li>・生態系サービスの考え方を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から、河川に生活排水が流入した際にみられる自然浄化の流れを読み取ることができる。</li> <li>・攪乱を受けても生態系のバランスが保たれる場合と、バランスが崩れ、別の状態に移行する場合の違いについて、攪乱の程度に着目して説明できる。</li> <li>・琵琶湖においてオオクチバスが在来種に与える影響を調査し、得られたデータをレポートにまとめることができる。(調査1)</li> <li>・オオクチバスの移入以降に漁獲量が大きく減少した種と、減少が少ない種との生活様式の違いから、オオクチバスの侵入が在来種に与える影響を考察できる。</li> <li>・河川にダムを建設することで、サケのような河川を遡上する魚類の個体数にどのような影響を与えるか、予想することができる。</li> <li>・生態系を保全する意義を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川でみられる自然浄化の流れを、資料から読み取り、積極的に説明しようとしている。</li> <li>・琵琶湖のオオクチバスが在来種に与える影響を積極的に調査しようとしている。また、調査した内容をレポートなどにまとめ、積極的に他の人に説明しようとしている。</li> </ul>

令和8年度 学習評価計画及び評価規準

埼玉県立所沢西高等学校

教科	英語	科目	英語コミュニケーションI	学年	1	単位数	3
使用教科書 副教材		Grove English Communication I New Edition					

学習の到達目標	<p>ア 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>イ 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>ウ 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</p> <p>エ 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>オ 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。</p>
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用する技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概念や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査など	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査など	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査など

教科担当からの 補足・連絡	
------------------	--

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準
1 学期	Lesson 1 Communication with People Around the World	[題材・内容] ・日常表現におけるしぐさについて知る。 ・よいコミュニケーションのために何が必要であるかを理解する。 ・コミュニケーションについて意見を交換したり、説明したりする。  [文型・文法事項] 主部と述部 / 「S+V」「S+V+C」「S+V+O」 / 現在・過去・未来を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	知技 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用する技能を身に付けている。
	Lesson 2 Pets and Humans: Together Through Time	[題材・内容] ・人気のあるペットについて知る。 ・長い歴史における人間とペットの関係の変化について理解する。 ・ペットや動物について意見を交換する。  [文型・文法事項] 名詞句 / to 不定詞(名詞的用法) / 動名詞を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	思 判 表 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概念や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。
	Lesson 3 Musubi-Ties and Knots	[題材・内容] ・日常のさまざまなシーンにおける結びについて知る。 ・古来、日本人が結びに込めたさまざまな願いについて理解する。 ・結びについて意見を交換したり、意味を説明したりする。  [文型・文法事項] 「S+V+O <sub>1</sub> +O <sub>2</sub> 」 / 「S+V+O+C」 / 進行形を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	主 体 的 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
	Lesson 4 The power of Mushrooms	[題材・内容] ・キノコを用いたいろいろな料理について知る。 ・自然界においてキノコが果たす役割について理解する。 ・日本の森やキノコなどについて意見を交換する。  [文型・文法事項] 現在完了形 / 過去完了形 / 「S+V+O (=that 節)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	
2 学期	Lesson 5 Braille Neue: Connecting Dots with Lines	[題材・内容] ・日常生活で見られる点字等の工夫について知る。 ・点字とデザインについて読み取る。 ・デザインについて意見を交換したり、インタビューに答えたりする。  [文型・文法事項] 受け身 / 分詞の形容詞的用法 / 助動詞を含む受け身 / to 不定詞(形容詞的用法)を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	知 技 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用する技能を身に付けている。
	Lesson 6 Is This Meat Real or Fake?	[題材・内容] ・日本人の好きな代表的な料理について知る。 ・食糧問題・環境問題を解決するために代替肉の果たす役割につ	思 判 表 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概念や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。

	<p>Lesson 7 Plastic Polluting Our Oceans</p> <p>Lesson 8 Manga: A Global Hit!</p>	<p>いて理解する。 ・食料品生産の新しい技術について意見を交換したり、インタビューに答えたりする。</p> <p>[文型・文法事項] 関係代名詞（主格） / to 不定詞（副詞的用法） / 関係代名詞（目的格） / 関係代名詞 what を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。</p> <p>[題材・内容] ・日本のペットボトルの年間出荷本数の推移について知る。 ・プラスチックごみが海や海洋生物に与える影響について理解する。 ・プラスチックごみが環境に与える影響について意見を交換する。</p> <p>[文型・文法事項] 比較 / 「It is+〜 (for〜) + to 不定詞」 / 「S+V+O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub> (=that 節) / 「S+V+O+to 不定詞」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。</p> <p>[題材・内容] ・マンガで用いられる独特な表現について知る。 ・世界に広がる日本のマンガ文化について理解する。 ・マンガについて意見を交換したり、会話したりする。</p> <p>[文型・文法事項] 「S+V+O+ C(=原形不定詞)」 / 「It is+形容詞 [名詞] +that 節」 / 「S+V+O(=疑問詞節など)」 / 「S+V+O+C(=現在分詞)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。</p>	主 体 的	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>
3 学 期	<p>Lesson 9 The Mysteries and Secrets of Petra</p> <p>Lesson 10 Greta Thunberg: No One Is Too Small to Make a Difference</p>	<p>[題材・内容] ・諸外国の文化の側面を知る。 ・ペトラ遺跡の歴史・文化について理解する。 ・ペトラ遺跡の謎について意見を交換する。</p> <p>[文型・文法事項] 関係副詞 (when, where) / 関係副詞 (why, how) / 仮定法過去 / 完了進行形を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。</p> <p>[題材・内容] ・家庭からの二酸化炭素排出量の内訳を知る。 ・グレタ・トゥーンベリさんの行動と主張について理解する。 ・環境を守るための活動などについて意見を交換する。</p> <p>[文型・文法事項] 仮定法過去完了 / 強調構文 / 分詞構文 / 「S+V+O<sub>1</sub>+ O<sub>2</sub>(=疑問詞節など)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。</p>	知 技	<p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用する技能を身に付けている。</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概念や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。</p>

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	英語	科目	論理表現 I	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		My Way Logic and Expression I New Edition My Way Workbook I					

学習の到達目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既知の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査など	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査など	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査など

教科担当からの 補足・連絡	
------------------	--

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準	
1 学 期 中 間	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves	<p>●学校の場所について、基本的な語句や文を用いて、即興で事実などを尋ねたり、初対面のあいさつをしたり、自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表したりすることなどができる。</p> <p>[S や] 学校の場所について、基本的な語句や文を用いて、即興で事実などを尋ねたり、初対面のあいさつをしたりすることができる。</p> <p>[S 発] 自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表することができる。</p> <p>[S や] 自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合うことができる。</p>	<p>[知識] be 動詞の現在形の特徴やきまりの特徴やきまりに関する事項を理解している。 学校内の場所を表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S や] 学校の場所について、be 動詞の現在形や学校内の場所を表す表現などを用いて、即興で事実を尋ねたり、初対面のあいさつをしたりする技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 一般動詞の現在形の特徴やきまりの特徴やきまりに関する事項を理解している。 趣味、好きなものを表す表現の意味を理解している。</p> <p>知 技 [技能] [S 発] 自分自身のことについて、一般動詞の現在形や趣味、好きなものを表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 自分自身のことを伝え合う表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] [S や] 自分自身のことについて、自分のことを伝え合う表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[S や] 学校の場所について、基本的な語句や文を用いて、即興で事実などを尋ねたり、初対面のあいさつをしたりしている。</p> <p>[S 発] 自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p> <p>[S 発] 自分の学校や町について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p> <p>[S や] 学校の場所について、基本的な語句や文を用いて、即興で事実を尋ねたり、初対面のあいさつをしたりなどしようとしている。</p> <p>[S 発] 自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。</p> <p>[S や] 自分自身のことについて、</p>	
				<p>[S や] 学校の場所について、基本的な語句や文を用いて、即興で事実などを尋ねたり、初対面のあいさつをしたりしている。</p> <p>[S 発] 自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p> <p>[S 発] 自分の学校や町について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p>
			<p>[S や] 学校の場所について、基本的な語句や文を用いて、即興で事実を尋ねたり、初対面のあいさつをしたりなどしようとしている。</p> <p>[S 発] 自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。</p> <p>[S や] 自分自身のことについて、</p>	

			<p>基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合おうとしている。</p>
1学期中間	<p><b>Lesson 2</b> <b>School Life</b></p> <p>●学校に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。</p> <p>[S や] 好きだった教科について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。</p> <p>[W] 部活動について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書くことができる。</p> <p>[S 発] 自分の学校や町について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表することができる。</p>	<p>[知識] 動詞の過去形の特徴やきまりの特徴やきまりに関する事項を理解している。 教科を表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S や] 好きだった教科について、動詞の過去形や教科を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 現在進行形、過去進行形の特徴やきまりに関する事項を理解している。 部活動を説明する表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [W] 部活動について、現在進行形、過去進行形や趣味、部活動を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書く技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 施設や場所の特徴を説明する表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] [S 発] 自分の学校や町について、施設や場所の特徴を説明する表現などを用いて、事実を整理し、発表する技能を身に付けている。</p>	<p>知技</p>
		<p>[S や] 好きだった教科について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。</p> <p>[W] 部活動について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書いている。</p> <p>[S 発] 自分の学校や町について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p>	<p>思判表</p>
		<p>[S や] 好きだった教科について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。</p> <p>[W] 部活動について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書</p>	<p>主体的</p>

			<p>こうとしている。</p> <p>[S 発] 自分の学校や町について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。</p>
1 学 期 期 末	Lesson 3 The Arts	<p>●芸術に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりすることなどができる。</p> <p>[S や] 週末の予定について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。</p> <p>[S 発] 好きな絵について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表することができる。</p> <p>[S 発] 任意の顔の形について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、発表することができる。</p>	<p>[知識] 未来表現の特徴やきまりに関する事項を理解している。 イベントを説明する表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S や] 週末の予定について、未来表現やイベントを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 基本時制（現在形、過去形、未来表現）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 物事を説明する表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S 発] 好きな絵について、基本時制（現在形、過去形、未来表現）や趣味、物事を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 図形描写の表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] [S 発] 任意の顔の形について、図形描写の表現などを用いて、事実を整理し、発表する技能を身に付けている。</p>
			<p>[S や] 週末の予定について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。</p> <p>[S 発] 好きな絵について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p> <p>[S 発] 任意の顔の形について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、発表している。</p>
			<p>[S や] 週末の予定について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。</p> <p>[S 発] 好きな絵について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。</p>

			<p>[S 発] 任意の顔の形について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、発表しようとしている。</p>
1 学 期 期 末	Lesson 4 Food and Culture	<p>●食に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。</p> <p>[S や] 注文したい料理について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。</p> <p>[W] 日本の食文化について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書くことができる。</p> <p>[S 発] 自分が選んだ料理の作り方について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、発表することができる。</p>	<p>[知識] 現在完了形（完了、経験）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 料理のメニューを表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] 注文したい料理について、現在完了形（完了、経験）や料理のメニューを表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 現在完了形（継続）、現在完了進行形の特徴やきまりに関する事項を理解している。 各国の食べ物を表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [W] 日本の食文化について、現在完了形（継続）、現在完了進行形や各国の食べ物を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書く技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 料理の作り方を紹介する表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] [S 発] 自分が選んだ料理の作り方について、料理の作り方を紹介する表現などを用いて、事実を整理し、発表する技能を身に付けている。</p>
			<p>[S や] 注文したい料理について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。</p> <p>[W] 日本の食文化について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書いている。</p> <p>[S 発] 自分が選んだ料理の作り方について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、発表している。</p>

			<p>主体的</p> <p>[S や] 注文したい料理について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。</p> <p>[W] 日本の食文化について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書こうとしている。</p> <p>[S 発] 自分が選んだ料理の作り方について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、発表しようとしている。</p>
2学期中間	Lesson 5 Welcome to Our Town	<p>●旅行や地域の文化に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりすることなどができる。</p> <p>[S や] 観光の目的地について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。</p> <p>[S 発] 地域の特徴やマスコットキャラクターについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表することができる。</p> <p>[S や] 電車やバスを使った観光地への行き方について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。</p>	<p>知技</p> <p>[知識] 助動詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。 道案内の表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S や] 観光の目的地について、助動詞や道案内の表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 受動態の特徴やきまりに関する事項を理解している。 地域の特産品を表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S 発] 地域の特徴やマスコットキャラクターについて、受動態や地域の特産品を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 観光案内の表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] [S や] 電車やバスを使った観光地への行き方について、観光案内の表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。</p>
			<p>思判表</p> <p>[S や] 観光の目的地について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。</p> <p>[S 発] 地域の特徴やマスコットキャラクターについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p> <p>[S や] 電車やバスを使った観光地への行き方について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考</p>

			え、気持ちなどを即興で伝え合っている。
			<p>[S や] 観光の目的地について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。</p> <p>[S 発] 地域の特徴やマスコットキャラクターについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。</p> <p>[S や] 電車やバスを使った観光地への行き方について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。</p>
2学期中間	Lesson 6 Traveling Abroad	<p>●旅行や海外の文化に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。</p> <p>[S や] 買いたいおみやげについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。</p> <p>[W] 旅行での出来事について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、正確に書くことができる。</p> <p>[S 発] 行ってみたい場所について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表することができる。</p>	<p>[知識] 不定詞（名詞的用法、形容詞的用法）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 おみやげを表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S や] 買いたいおみやげについて、不定詞（名詞的用法、形容詞的用法）やおみやげを表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 不定詞（副詞的用法など）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 旅行の楽しみを表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [W] 旅行での出来事について、不定詞（副詞的用法など）や旅行の楽しみを表す表現などを用いて、事実を整理し、正確に書く技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 発表のための表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] [S 発] 行ってみたい場所について、発表のための表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する技能を身に付けている。</p>

			<p>思 判 表</p> <p>[S や] 買いたいおみやげについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。</p> <p>[W] 旅行での出来事について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、正確に書いている。</p> <p>[S 発] 行ってみたい場所について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p>
			<p>主 体 的</p> <p>[S や] 買いたいおみやげについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。</p> <p>[W] 旅行での出来事について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、正確に書こうとしている。</p> <p>[S 発] 行ってみたい場所について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。</p>
<p>2 学 期 期 末</p>	<p>Lesson 7 Sports</p>	<p>●スポーツに関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりすることなどができる。</p> <p>[S や] スポーツの試合について、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合うことができる。</p> <p>[S 発] 車いす競技について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表することができる。</p> <p>[S や] スポーツ選手の特徴について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、即興で伝え合うことができる。</p>	<p>知 技</p> <p>[知識] 動名詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。 スポーツの動作を説明する表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S や] スポーツの試合について、動名詞やスポーツの動作を説明する表現などを用いて、事実を即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 分詞による後置修飾、分詞構文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 スポーツの動作を説明する表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S 発] 車いす競技について、分詞による後置修飾、分詞構文やスポーツの動作を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[知識] "Who am I?" クイズの表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] [S や] スポーツ選手の特徴について、"Who am I?" クイズの表現などを用いて、事実を整理し、伝え合う技能を身に付けている。</p>

			<p>思 判 表</p> <p>[S や] スポーツの試合について、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合っている。</p> <p>[S 発] 車いす競技について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p> <p>[S や] スポーツ選手の特徴について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、即興で伝え合っている。</p>
			<p>主 体 的</p> <p>[S や] スポーツの試合について、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合おうとしている。</p> <p>[S 発] 車いす競技について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。</p> <p>[S や] スポーツ選手の特徴について、基本的な語句や文を用いて、事実などを整理し、即興で伝え合おうとしている。</p>
2 学 期 期 末	Lesson 8 Future Mobility	<p>●科学技術に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。</p> <p>[S や] 紙の本と電子書籍のよさについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。</p> <p>[W] 科学技術製品について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書くことができる。</p> <p>[S や] 翻訳機が発達した状況について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合うことができる。</p>	<p>[知識] 比較（比較級）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 紙の本と電子書籍の特徴を説明する表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S や] 紙の本と電子書籍のよさについて、比較（比較級）や紙の本と電子書籍の特徴を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 比較（最上級、同等比較）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 科学技術製品を説明する表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [W] 科学技術製品について、比較（最上級、同等比較）や趣味、科学技術製品を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書く技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 賛成意見や反対意見を言うための表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] [S や] 翻訳機が発達した状況について、賛成意見や反対意見を言うための表現などを用いて、事実や</p>

			<p>自分の考え、気持ちを整理し、伝え合う技能を身に付けている。</p>
			<p>思 判 表</p> <p>[S や] 紙の本と電子書籍のよさについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。</p> <p>[W] 科学技術製品について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書いている。</p> <p>[S や] 翻訳機が発達した状況について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合っている。</p>
			<p>主 体 的</p> <p>[S や] 紙の本と電子書籍のよさについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。</p> <p>[W] 科学技術製品について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、正確に書こうとしている。</p> <p>[S や] 翻訳機が発達した状況について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合おうとしている。</p>
<p>学 年 末</p>	<p>Lesson 9 Take Care</p>	<p>●健康や体調に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合ったり、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表したりすることなどができる。</p> <p>[S や] 身体 of 具体について、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合うことができる。</p> <p>[S 発] 健康について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表することができる。</p> <p>[S や] 健康維持に必要なことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合うことができる。</p>	<p>知 技</p> <p>[知識] 関係代名詞（主格、目的格）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 体調を表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S や] 身体 of 具合について、関係代名詞（主格、目的格）や体調を表す表現などを用いて、事実を即興で伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 関係代名詞（目的格 of 省略など）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 健康管理を表す表現の意味を理解している。</p> <p>[技能] [S 発] 健康について、関係代名詞（目的格 of 省略など）や健康管理を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する技能を身に付けている。</p> <p>[知識] 意見を述べ合う of 表現の意味や働きを理解している。</p>

			<p>[技能] [S や] 健康維持に必要なことについて、意見を述べ合うの表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、伝え合う技能を身に付けている。</p>
			<p>[S や] 身体の具体について、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合っている。</p> <p>[S 発] 健康について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表している。</p> <p>[S や] 健康維持に必要なことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合っている。</p>
			<p>[S や] 身体の具体について、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合おうとしている。</p> <p>[S 発] 健康について、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表しようとしている。</p> <p>[S や] 健康維持に必要なことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合おうとしている。</p>

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	情報	科目	情報 I	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		「情報 I Step Forward!」(東京書籍)					

学習の到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査において、 知識・技能 問題を設定 定期考査の得点率を基に評価する	定期考査・実習において、 思考・判断・表現を問う問題・ 課題を設定 定期考査の得点率・課題を基に 評価する	主にパフォーマンス課題、振り返りで「粘り強く学ぶ力」と「自らの学びを調整する力」の観点で評価をする 課題、レポートの考察、授業振り返りの記述を基に評価する

教科担当からの 補足・連絡	情報及び情報技術を活用するための知識と技術を習得すること、情報に関する科学的な見方や考え方を養うこと、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解することを総合的に学びます。 授業や実習に積極的に取り組み、創意工夫をすることが大切です
------------------	--

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準	
1学期	第1章 情報社会 情報とその特性 メディアとその特性 問題を解決する方法 情報の収集と分析 解決方法の考案 知的財産 個人情報 情報セキュリティ 情報モラルと個人の責任 情報技術の進歩と役割 情報技術が社会に与える光と影 第2章 情報デザイン コミュニケーションとメディア 情報のデジタル化 数値の表現 2進法の計算 文字のデジタル表現 音のデジタル表現 画像のデジタル表現 データの圧縮 デジタルデータの特徴	第1章 情報社会 情報とその特性 メディアとその特性 問題を解決する方法 情報の収集と分析 解決方法の考案 知的財産 個人情報 情報セキュリティ 情報モラルと個人の責任 情報技術の進歩と役割 情報技術が社会に与える光と影 第2章 情報デザイン コミュニケーションとメディア 情報のデジタル化 数値の表現 2進法の計算 文字のデジタル表現 音のデジタル表現 画像のデジタル表現 データの圧縮 デジタルデータの特徴	知技	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。
			思判表	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
			主体的	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。
2学期	第2章情報デザイン メディアと文化の発展 ネットコミュニケーションの特徴 情報デザイン 操作性の向上と情報技術 全ての人に伝わるデザイン コンテンツ設計 第3章プログラミング コンピュータの構成 ソフトウェア 処理の仕組み 論理回路 アルゴリズムの表現 アルゴリズムの効率性 プログラムの仕組み プログラミング入門 プログラムの応用 問題のモデル化 モデル化の活用	第2章情報デザイン メディアと文化の発展 ネットコミュニケーションの特徴 情報デザイン 操作性の向上と情報技術 全ての人に伝わるデザイン コンテンツ設計 第3章プログラミング コンピュータの構成 ソフトウェア 処理の仕組み 論理回路 アルゴリズムの表現 アルゴリズムの効率性 プログラムの仕組み プログラミング入門 プログラムの応用 問題のモデル化 モデル化の活用	知技	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。
			思判表	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
			主体的	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。
3学期	第3章プログラミング シミュレーション シミュレーションの活用 第4章ネットワークの活用 情報通信ネットワーク デジタル通信の仕組み インターネットの利用 安心安全を守る仕組み 情報システム さまざまな情報システム 情報システムの信頼性 データの活用とデータベース データの管理 データの収集と種類 データの分析 不確実な事象の解釈 2つのデータの関係	第3章プログラミング シミュレーション シミュレーションの活用 第4章ネットワークの活用 情報通信ネットワーク デジタル通信の仕組み インターネットの利用 安心安全を守る仕組み 情報システム さまざまな情報システム 情報システムの信頼性 データの活用とデータベース データの管理 データの収集と種類 データの分析 不確実な事象の解釈 2つのデータの関係	知技	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。
			思判表	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
			主体的	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来 新訂版					

学習の到達目標	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理科させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域お生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭だけでなく地域社会との関わりあいを通して基礎的・基本的な生活技術を身につける。生涯発達の視点から課題を理解している。	自立した生活を営むために必要な衣食住だけでなく、消費生活や福祉も含め、実践的な態度を身につけている。	生涯発達の視点から課題を理解し、社会の一員としての生活を改善するために主体的に取り組もうとしている。

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査（知識・技能）	定期考査（思考・判断・表現）	実習・作品への取り組み レポート・作品

教科担当からの 補足・連絡	なし
------------------	----

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準
1 学期	A編 第1章 生活設計	1 人の一生と生涯発達 2 ライフイベントと人の 生き方 3 目標と意思決定	知技 成人年齢引き下げに伴う学習内容の変化を理解する。 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 私たちは生涯発達し続ける存在であることを理解する。
			思 判 表 自分たちはライフステージにおける青年期にいることに気づこうとして いる。
			主 体 的 これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標をたて、そのための 意思決定について考えている。
	A編 第2章 青年期と家族	1 これからの人生に向か って 2 家族・家庭とは何だろ う？ 3 これからの家庭生活と 社会	知技 家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解する。 日本の雇用環境を考え、将来を見通した職業観を身につける。 社会の変化に伴う家族・家庭の変化について理解する。 家庭生活を支える基本的な法律について理解する。
			思 判 表 家族・家庭とは何かを、様々な観点から考えて自分なりの価値観を築こう としている。
			主 体 的 青年期とはどのような時期なのかを知り、年間に必要な自立について考え ている。 男女共同参画社会について知り、実現のためにできることについて自分な りに考えている。 18歳で大人になるという自覚を持つ。
	C編 第1章 経済計画	1 家計とお金の将来を 考えよう	知技 家計のしくみについて理解し、家計は社会と密接にかかわっていることを 知る。 生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。
			思 判 表 収入と支出のバランスについて適切に判断しようとしている。
			主 体 的 金融商品の特徴を理解し、将来の財産管理について考えている。
	C編 第2章 消費生活	1 何をどうやって買 う？ 2 かしこい消費者にな ろう	知技 一人で契約する時の注意点や心構えについて理解する。 18歳で「大人」になるという自覚をもち、大人と未成年の違いについて理 解する。 消費者トラブルと、消費者保護について理解する。 消費者の権利と責任について理解する。
			思 判 表 消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自分の消費行 動について客観的に判断しようとしている。
			主 体 的 様々な決済方法について知り、それぞれのメリット・デメリットや自分 に合った利用方法について考えている。 消費者市民社会の実現に向けて、自立した消費者としてどのように行動し たらよいかを考えている。
	A編 第4章 高齢期	1 高齢期ってどうい う時期？ 2 高齢化する日本を生 きる。	知技 高齢期の心身の特徴を知り、高齢期に多い疾病について理解する。 介助について具体的な方法を理解する。 高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する。 高齢者を支える基本的な制度やしくみについて理解する。
			思 判 表 社会保障制度のしくみや他の国の現状を知り、自分なりに考えを深めよう としている。
			主 体 的 人生の一時期として高齢期を捉え、自分の将来像としての高齢期について 考えている。 高齢者の生活や、社会的な支援のあり方について考えている。 高齢者を支える地域の役割について考えている。
A編 第5章 共生社会	1 共生とは	知技 共生社会の重要性について理解する。 社会保障制度や公的年金制度について理解する。	

		2 ノーマライゼーションとは	思 判 表	自助・互助・共助・公助について考えを深めようとしている。
			主 体 的	共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考え、工夫する。
2 学 期	B編 第2章 衣生活	1 衣服のはたらき	知 技	ライフステージの各場面に適した衣服、衣服計画の重要性について理解する。
		2 衣服ができるまで		衣服の素材（繊維、糸、布）の種類や特徴について理解する。
		3 衣服の計画と管理	衣服素材の性能・着心地や構成について理解する。	
		4 これからの衣生活	思 判 表	衣服の手入れ、管理の必要性やその方法について、科学的に理解する。 基本的な衣服製作の技術を身につける。
		◆衣服実習	主 体 的	購入、活用、手入れ、再利用や廃棄まで考えて、衣服計画をたてようとしている。
			主 体 的	人間の生活と衣服のかかわり、衣服のおもな機能について理解し、生活に生かすことができる。 自分自身の衣生活の分析を通して、衣服や日常の衣生活に関心をもつことができる。 衣服の表示について理解し、日常生活の中での活用について考えている。 私たちの衣生活が環境に与える影響を考え、持続可能な衣生活について考えている。
2 学 期	B編 第1章 食生活	1 「食べる」ということ	知 技	食事と健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。
		2 私たちが食べているもの		日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能、おもな食品の特徴について理解する。
		3 安全に食べるために	安全や健康の観点から、食品を適切に選択したり保存したりする方法について理解する。	
		4 健康に食べるために	思 判 表	私たちの体にとっての水の大切さを理解する。 調理の基本的な技術を身につけ、安全や衛生面に配慮した調理ができるようになる。
		5 おいしく食べるために	主 体 的	料理の盛り付けや配膳、食事のマナーの基本を理解する。 日本の食文化を理解し、私たちが食生活の伝統を引き継ぎ、新しくを創造する主体であることを認識する。
		6 ずっと食事を楽しむために	思 判 表	食事摂取基準について理解し、各栄養素の必要量について判断しようとしている。
		◆調理実習	主 体 的	年齢、性別、宗教など様々な背景や考え、相手に配慮した献立について考えることができる。 食品ロスなど具体的な問題点から、現代の食生活の問題や課題について考えることができる。
3 学 期	B編 第3章 住生活	1 「住まい」とは	知 技	人と住まいとのかかわりや、住まいの機能について理解する。
		2 安全な住まい		地震などの災害に備えたり、家庭内事故の要因を理解したりするなど、安全な住居についての基礎知識を身につける。
		3 快適な住まい	家族のライフステージや状況に合わせた、適切な住まいについて理解する。	
		4 住まいの課題と未来の暮らし	思 判 表	私たちの暮らしが地域とつながっていることを知り、まちづくりに参加する重要性を理解する。
			主 体 的	安全で快適な住生活のための対策を具体的に考え、工夫しようとしている。 住居の平面図を読み取ろうとしている。
			主 体 的	日本の住宅事情や課題を理解し、持続可能な住まい方の工夫について考えている。
	A編 第3章 保育	1 子どもの成長を見つめる	知 技	乳幼児期が人の一生において重要な時期であることを理解する。
		2 子どもの生活と保育		子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。
		3 これからの子育て環境		現代の子どもを取り巻く環境の問題について理解する。 社会全体で子育てを支援し、子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。 子どもの権利や福祉について理解する。

			<p>親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さ、子どもを生み育てることの意義を学ぼうとしている。</p> <p>子どもとの適切なかわり方について工夫しようとしている。</p> <p>育児休業について、他国と比較して考えを深めようとしている。</p>
		主体的	<p>子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、子どもにとって良い環境について考えて自分なりの意見をもつ。自分たちがこれから子どもを育てる世代になることを実感する。</p>

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	保健体育	科目	体育	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材							

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す</p>
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p>	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p>	<p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<p>授業において、 知識・技能テストを設定</p>	<p>授業において、 思考・判断 表現を問う課題を設定</p>	<p>授業への取り組みを観察して 評価をする</p>
<p>A 優れている B 十分である C 不足している</p>	<p>A 優れている B 十分である C 不足している</p>	<p>A 優れている B 十分である C 不足している</p>

教科担当からの 補足・連絡	<p>施設の状況により実施種目に変更が生じる場合があります。</p>
------------------	------------------------------------

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準
1 学期	1. 体づくり運動 2. 陸上競技（競走）  3. 選択1	50m 男子1500m 女子1000m  ・ダンス ・器械体操（マット） ・球技（卓球）	<p>・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて言ったり書き出したりしている。</p> <p>・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。</p> <p>・交流や発表の仕方には、簡単な作品の見せ合いなどがあり、全員で交流し合う方法があることについて言ったり書き出したりしている。</p> <p>・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察と他者観察などの方法があることについて言ったり書き出したりしている。</p> <p>・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて言ったり書き出したりしている。</p> <p>・ボールを相手側のコートの中に入った場所に打ち返すことができる。</p>
			<p>・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができる。</p> <p>・選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。</p> <p>・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p>
			<p>・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている</p> <p>・仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p> <p>・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
2 学期	4. 選択2	<p>・陸上競技（ハードル） ・球技（バスケットボール） ・武道（剣道）</p>	<p>・インターバルでは、3又は5歩のリズムを最後のハードルまで維持して走ることができる。</p> <p>・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶことができる。</p> <p>・構えでは、相手の動きの変化に応じた自然体で素早く中段に構えることができる。</p> <p>・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。</p>

	5. 陸上競技	・長距離走	<p>思 判 表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</li> <li>・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。</li> <li>・相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよい所作について提案している。</li> </ul>
			<p>主 体 的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> </ul>
3 学 期	6. 選択3	球技 テニス サッカー バドミントン	<p>知 技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることについて言ったり書き出したりしている。</li> </ul>
			<p>思 判 表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。</li> </ul>
			<p>主 体 的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	保健体育	科目	保健 I	学年	1	単位数	1
使用教科書 副教材		(大修館)「新高等保健」体育					

学習の到達目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
定期考査において、 知識・技能 問題を設定	定期考査において、 思考・判断 表現を問う問題を設定	「課題解決に向けた取り組み」の観点で評価をする
定期考査の得点率 A 優れている B 十分である C 不足している	定期考査の得点率 A 優れている B 十分である C 不足している	レポートの考察、授業振り返りの記述を基に A 優れている B 十分である C 不足している

教科担当からの 補足・連絡	
------------------	--

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準
1 学期	1) 現代社会と健康 ア) 健康の考え方  (イ) 現代の感染症とその予防	㉞ 国民の健康課題  ㉟ 健康の考え方と成り立ち ㊱ 健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり	知技 ・国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることを、疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることを理解したことを言ったり書いたりしている。
			思判表 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。
			主体的 ・国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
2 学期	(ウ) 生活習慣病などの予防と回復  (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康  (オ) 精神疾患の予防と回復	㉞ 喫煙、飲酒と健康  ㉟ 薬物乱用と健康   ㊱ 精神疾患の特徴  ㊲ 精神疾患への対処  ㊳ 精神疾患への対処	知技 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ・喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどについて理解したことを言ったり書いたりしている。
			思判表 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・精神疾患の特徴について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>
3 学 期	(ア) 安全な社会づくり  (イ) 応急手当	㉞ 事故の現状と発生要因 ㉟ 安全な社会の形成 ㊱ 交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。</li> <li>・心肺停止状態においては、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul>
		㉞ 応急手当の意義 ㉟ 日常的な応急手当 ㊱ 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。</li> <li>・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。</li> <li>・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通安全について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		「MOUSAI」(教芸)					

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。</li> <li>・音や音楽が醸し出す良さや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。</li> </ul> </li> <li>・音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音環境への関心を高め、音楽の知的財産権を尊重する態度の形成を図る。</li> <li>・中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景など広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。</li> </ul>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
(1)曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 (2)創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
音楽表現における「技術」は、リズム・音程の正確さ、音色等の的確さを実技テストを実施し評価。	音楽表現における「表現」は、その音楽の歌詞や背景を基に、どのようにフレーズを表現するか、実技テストを実施し評価	授業での活動状況。グループ活動での発言や、自分の役割の理解。活動への積極性を評価。

教科担当からの補足・連絡	2学期にリコーダーを使います。ソプラノ・アルトどちらか用意してください。
--------------	--------------------------------------

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準	
1 学期	<歌唱>	○校歌 ○翼をください  ○歌曲 「0 sole mio」 「のぼら」	知 技	歌唱における「リズム」「音程」が正確であるか。 正しい発声、あるいは元気な声で歌っているか
	<理論>	○コールユーブンゲン  ○バッハとその時代	思 判 表	歌唱における歌詞や時代背景を理解し表現しようとしているか。
	<鑑賞>	○バッハ ・オルガン曲 ・鍵盤曲 ・カンタータ ・受難曲	主 体 的	音楽講義・鑑賞において主体的に参加できているか。
2 学期	<歌唱>	○コールユーブンゲン ○Sound of music	知 技	歌唱における「リズム」「音程」が正確であるか。 器楽演奏における、楽器特性の理解度、および技術力。
	<器楽>	○リコーダー ○三線	思 判 表	器楽演奏における音楽的な演奏を表現しようとしているか。
	<鑑賞>	○The Sound of music ○ベートーヴェン	主 体 的	音楽講義・鑑賞において主体的に参加できているか。
3 学期	<歌唱>	○夏の思い出 ○この道 ○Caro mio ben	知 技	歌唱における「リズム」「音程」が正確であるか。
	<合唱>	○練習、録音、採点	思 判 表	歌唱における歌詞や時代背景を理解し表現しようとしているか。
			主 体 的	合唱において協調性があるか

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	芸術	科目	書道 I	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		教科書…「新編 書道 I」(大修館書店) 副教材…「改訂基本ペン習字」(教育図書)					

学習の到達目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書によさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

評価の方法		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
学期末に授業内で実施する筆記試験において、【知識・技能】に関する問題を出題し、評価する。	毎時間の授業で提出した作品を学期末に「作品綴」とし、それを基に【思考・判断・表現】に関して評価する。	毎時間の「自己評価シート」や観察によって「試行錯誤を繰り返し粘り強く学ぶ様子」等を評価する。

教科担当からの 補足・連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道用具の販売は、4月下旬に学校(書道室)で行います。</li> <li>・教材費は、学年費から支出します。4,500円程度です。</li> <li>・硬筆テキスト「改訂基本ペン習字」1冊に取り組みます。</li> <li>・実技科目なので、休まないで授業に臨むようにしてください。</li> <li>・教科書、書道道具一式、筆記用具を忘れずに持参してください。</li> <li>・作品は毎時間提出してもらいます。試行錯誤を繰り返し、粘り強く学ぶ様子を評価します。</li> </ul>
------------------	--

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準
1学期	用具・用材（文房四宝） 姿勢・執筆、古典の学び方  漢字の書の学習（楷書） 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 県硬筆展課題 顔氏家廟碑 牛橛造像記  漢字仮名交じりの書の学習 作品の表現意図を考える	書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 基本の姿勢、執筆法、後片付けについて、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。 楷書の古典を臨書する意義について理解する。 楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、臨書する。 古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。	知技 <ul style="list-style-type: none"> <li>用具・用材の特徴と表現効果の関わり、唐代の楷書の書風と用筆・運筆との関わりを理解している。</li> <li>唐代の楷書の古典の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、中国の文字と書の伝統と文化について理解している。</li> <li>楷書古典に基づく基本的な用筆・運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。</li> </ul>
			思判表 <ul style="list-style-type: none"> <li>古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形について工夫し、表現している。</li> <li>楷書古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえている。</li> <li>漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。</li> </ul>
			主体的 <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>提出する作品の制作において、試行錯誤を繰り返し、主体的に粘り強く学ぼうとしている。</li> </ul>
2学期	漢字の書の学習（行書） 行書の特徴 蘭亭序 風信帖  漢字の書の制作（スクラッチ皿） 県書きぞめ展課題  漢字仮名交じりの書の学習  名筆に学ぶ表現の工夫	行書の古典を臨書する意義について理解する。 行書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、臨書する。 漢字の書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。	知技 <ul style="list-style-type: none"> <li>行書の古典の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、中国や日本の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。</li> <li>行書の特徴とその歴史について理解を深めている。</li> <li>王羲之や空海の行書に基づく基本的な用筆・運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。</li> </ul>
			思判表 <ul style="list-style-type: none"> <li>王羲之や空海の行書の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえている。</li> <li>古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形について工夫し、表現している。</li> <li>漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。</li> </ul>
			主体的 <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</li> <li>主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>提出する作品の制作において、試行錯誤を繰り返し、主体的に粘り強く学ぼうとしている。</li> </ul>
3学期	仮名の書の学習 仮名の成立と発達 仮名の種類 平仮名 変体仮名 連綿 蓬莱切  仮名の書の制作 短冊作品制作  漢字仮名交じりの書の学習 全体構成の工夫	仮名の成立と変遷について理解する。 仮名の用具・用材の特徴について理解する。 仮名の基本的な線について理解し、練習する。 平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 変体仮名について理解し、練習する。 連綿について理解し、練習する。 書き方の工夫によってさまざまな表現ができることを理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうか考える。	知技 <ul style="list-style-type: none"> <li>書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。</li> <li>仮名の成立について理解している。</li> <li>用具・用材の特徴と表現効果との関わりや、線質と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身につけている。</li> </ul>
			思判表 <ul style="list-style-type: none"> <li>古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫して表現している。</li> <li>漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。</li> </ul>
			主体的 <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に仮名の書の鑑賞に取り組もうとしている。</li> <li>古典のよさや美しさを感じ、主体的に幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</li> <li>提出する作品の制作において、試行錯誤を繰り返し、主体的に粘り強く学ぼうとしている。</li> </ul>

※状況により変更が発生する場合があります。

# 令和8年度 学習評価計画及び評価規準

## 埼玉県立所沢西高等学校

教科	芸術	科目	美術 I	学年	1	単位数	2
使用教科書 副教材		高等学校の美術 I (日本文教出版)					

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</li> <li>・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> <li>・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</li> </ul>
---------	---

### 評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

### 評価の方法

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
演習課題やワークシートにおいて、技法や材料の特性の理解を図る課題を設定し評価する 授業内で小テストを行う 演習課題とワークシート、アイデアスケッチ、課題等で評価する 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している	説明・演習課題で得た知識・技能を自身の表現に生かそうとしているか。完成度の高さ、アイデアスケッチやワークシートの記録を基に課題作品で評価する 課題作品、提出物等の評価 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している	主に授業での活動状況、出欠、制作準備、提出物、作品鑑賞、振り返りで「粘り強く学ぶ力」と「自らの学びを調整する力」の観点で評価をする。 成績表 A 優れている B 十分である C 不足している

教科担当からの 補足・連絡	美術は知識・技能・思考・判断・表現・主体的な取り組みを通して作品を制作し、全体を通して総合的に評価します。
------------------	---

※状況により変更が発生する場合があります。

	単元	学習内容	観点別評価規準	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素描</li> <li>・着彩デッサン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆の使い方、グラデーション、基本形態のデッサン（球体・立方体）、陰影について学び、ものの形を正しくとらえることができるようになる</li> <li>・素描で学んだ知識を生かし、静物・構成）を立体的に描く</li> <li>・アクリルガッシュの特性や道具の生かし方などを身に付ける</li> <li>・グループワークによってコミュニケーションを深める</li> <li>・鑑賞、振り返り</li> </ul>	知 技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆の使い方を理解し、濃淡・筆致を使用し立体的に描けているか</li> <li>・知識をもとに形態を表現できているか</li> <li>・アクリルガッシュの特性や色、道具の生かし方などを身に付けて制作できているか</li> <li>・より良い作品にするために粘り強く制作し、創意、工夫をしているか</li> </ul> 等
			思 判 表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリルガッシュの特性や色、道具の生かし方などを身に付けて制作できているか</li> <li>・鉛筆の使い方を理解し、濃淡・筆致を使用し立体的に描けているか</li> <li>・知識をもとに形態を表現できているか</li> <li>・より良い作品にするために粘り強く制作し、創意、工夫をしているか</li> </ul> 等
			主 体 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に制作しているか（出欠含む）</li> <li>・グループ活動でコミュニケーションをしながら思考を深めているか</li> <li>・鑑賞、振り返りを通して自らの学びを調整しているか</li> <li>・より良い作品にするために粘り強く制作し、創意・工夫をしているか</li> </ul> 等
2 学期	4 大絵巻を知り、物語を制作しよう  （はがし刷り技法を使って）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4 大絵巻を協調学習で知る</li> <li>・グループワークで物語を作る</li> <li>・はがし刷り技法で作品を作る</li> <li>・鑑賞、振り返り</li> </ul>	知 技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4 大絵巻の知識が定着しているか（小テスト予定）</li> <li>・版画の技法を学び、適切に制作しているか</li> <li>・絵巻を組み合わせる新しい表現を描けているか</li> <li>・より良い作品にするために粘り強く制作し、創意・工夫をしているか</li> </ul> 等
			思 判 表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・版画の技法を学び、適切に制作しているか</li> <li>・絵巻を組み合わせる新しい表現を描けているか</li> <li>・他者の作品と組み合わせ物語を制作できているか</li> <li>・より良い作品にするために粘り強く制作し、創意・工夫をしているか</li> </ul> 等
			主 体 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に制作しているか（出欠含む）</li> <li>・グループ活動でコミュニケーションをしながら思考を深めているか</li> <li>・鑑賞、振り返りを通して自らの学びを調整しているか</li> <li>・より良い作品にするために粘り強く制作し、創意・工夫をしているか</li> </ul> 等
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塑像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果物、野菜をよく観察する</li> <li>・紙粘土で塑像する</li> <li>・着色</li> <li>・鑑賞、振り返り</li> </ul>	知 技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフをよく観察し、形態・色・質感をとらえたデッサンをしているか</li> <li>・混色をし、モチーフと同じ色を再現しているか</li> <li>・スケッチブックに適切にまとめているか</li> <li>・立体的に正しい形を制作できているか</li> </ul> 等
			思 判 表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフをよく観察し、形態・色・質感をとらえたデッサンをしているか</li> <li>・混色をし、モチーフと同じ色を再現しているか</li> <li>・スケッチブックに適切にまとめているか</li> <li>・立体的に正しい形を制作できているか</li> <li>・より良い作品にするために粘り強く制作し、創意・工夫をしているか</li> </ul> 等

			主体的か 等	<ul style="list-style-type: none"><li>・主体的に制作しているか（出欠含む）</li><li>・より良い作品にするために粘り強く制作し、創意・工夫をしているか</li><li>・鑑賞、振り返りを通して自らの学びを調整しているか</li></ul>
--	--	--	-----------	---

※状況により変更が発生する場合があります。